

城北市民運動公園の整備について

平成27年1月28日

金沢市議会
建設企業常任委員会

金沢市議会意見交換会
「城北市民運動公園の整備について」

1. 拡張整備計画について



1. 拡張整備計画について

施設の概要



- ・ **スポーツ広場**
115m×78m、人工芝、防球ネット(H=8m)、照明灯(LED、4基)、観覧席(約700席)
- ・ **本田圭佑クライフコート**
42m×28m、人工芝、隣接して2,700㎡の芝生広場(※平成23年、ヨハン・クライフ財団からの寄付)
- ・ **少年スポーツコート**
80m×50m、人工芝、防球ネット(H=5m)
- ・ **中央 芝生広場**
約1.2ha、高麗芝、大型休憩所併設
- ・ **南側 芝生広場**
約2.0ha、高麗芝、調整池兼用、大規模大会開催時の臨時駐車場(駐車台数250台)
- ・ **西側 駐車場**
駐車台数 約120台、調整池兼用
- ・ **東側 駐車場**
駐車台数 約210台(大型車約10台、冬期融雪約50台)、調整池兼用

1. 拡張整備計画について

整備区域・内容			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降	備考
測量・地質調査			○					
広場等公園施設	設計		○ 基本設計	○ 実施設計			○ 実施設計(屋内広場周辺)	
	スポーツ広場	115m×78m・人工芝・照明灯、防球ネット			○ 照明施設、防球ネット	○ 人工芝		
	芝生広場	中央約1.2ha、南側約2.0ha(臨時P約250台)		○ 南側	○ 南側		○ 順次整備	
	駐車場	西側約120台、東側約210台(東側は一部融雪)		○ 東側・基盤	○ 西側		○ 東側	
	園路・広場			○ 少年SC周辺	○ 少年SC周辺S広場周辺		○ 順次整備	
	少年スポーツコート	80m×50m・人工芝、防球ネット	○					平成24年完了
	本田圭佑クライフコート	42m×28m・人工芝						平成23年完了
屋内プール	設計		○ 基本設計	○ 実施設計				
	工事				○	○	○	
屋内広場	設計			○ 基本計画(方向性の検討)	○ 基本計画(基本的方針)	○ 基本設計	○ 実施設計	
	工事						○ 順次整備	

1. 拡張整備計画について

本会議、委員会での主なやりとり（全体計画）

[平成23年6月定例会（6/29）]

・全体の整備計画、今後のスケジュールは？

・市長の城北市民運動公園整備に寄せる思いは？

議会

・財政事情を見きわめながら、計画的な整備を進めたい

・多岐にわたる本市の総合的なスポーツ拠点施設としたい
（プロスポーツ、競技スポーツ、生涯スポーツ、レクリエーション活動など）

執行部

本会議会議録より

《質問》

・平成10年に9.1ヘクタールの面積から27.2ヘクタールに区域が拡大され、21年度から屋内プールや武道館、多目的広場の新設、また、サッカー場や野球場の改修整備の計画等が検討され、その後いろいろ紆余曲折があったにしろ、ようやく、ここにたどり着いた感じがします。本年7月末には、クライフ財団の寄附に伴う子ども用人工芝サッカー場である本田圭佑クライフコートが完成予定であり、今から、あすのJリーガーを夢見る子どもたちも楽しみにしている状況です。北部の人にとっても本当に待ちに待った運動公園ですが、いよいよここへ来て本格的に整備が進捗するとのことでありますので、改めて全体の整備計画、今後のスケジュールをお聞かせください。

・この運動公園は、未来の夢を追う子どもたちから、生涯スポーツを楽しむお年寄りまでが集える施設整備が望まれ、それらが一体になって初めて城北市民運動公園として活気も出てくるし、生きてくるんです。そんなことを思えば、スポーツの拠点として同公園の一日も早い完成が待たれます。スポーツをこよなく愛する山野市長にとって、城北市民運動公園整備に寄せる思いをお聞かせください。

《答弁》

・今年度は、これまでの検討を踏まえ、各施設の規模及び配置並びに施設整備に係る年次計画を定めた実施計画を策定することとしているところであります。これに基づき、財政事情を見きわめながら、順次、計画的な整備を進めていきたいというふうに思っています。

・スポーツは、子どもたちにも夢と希望を与えますし、まちに活力を与えるものというふうに思っています。そういう意味では、この運動公園は多くの市民が集い、スポーツに親しめる公園として、プロスポーツを初め、競技スポーツや生涯スポーツ、レクリエーション活動など、多岐にわたる本市の総合的なスポーツ拠点施設としていきたいというふうに思っています。

1. 拡張整備計画について

本会議、委員会での主なやりとり（駐車場、財源）

[平成24年6月定例会（6/20）]

- ・駐車スペースの増設は検討しないのか？
- ・多額の予算が必要なので、スポーツ振興くじtotoの活用を検討しては？

議会

- ・利用者数が大きく変化するようであれば、検討したい
- ・国庫補助など財源確保に努めてきた中で、スポーツ振興くじtotoの助成も活用した

執行部

本会議会議録より

《質問》

・今後、計画する施設の数や利用者のことを考えますと、駐車場の収容台数が手狭な感があるかと思います。現在の計画収容試算を踏まえ、増設のため用地確保の検討をいたしてはと思います。が、御所見をお伺いいたします。

・整備促進に当たり、平成3年、Jリーグ開幕時から全国本販売されました正式名称はスポーツ振興投票、通称スポーツ振興くじtotoの活用についてお伺いいたします。文部科学省の指導監督のもと独立行政法人日本スポーツ振興センターにより運営、販売が行われているものであり、国会での法案成立においては、御当地衆議院議員馳浩代議士も御尽力されたことをお伺いしております。totoの目標の一つに、だれもが身近にスポーツに親しめる環境の整備として、全国さまざまな場所に活用されるものであります。toto売上金額は、近年では800億円を超えるものであり、スポーツ振興投票助成としての事業費は100億円を超えるものとなっております。この売り上げが伸びている要因は幾つもあり、投票方法は8つ、少額のものから最大6億円という配当があり、楽しむ宝くじとして夢を購入される方も多数おられます。購入方法は、窓口での購入は約2割にとどまるのですが、インターネット購入が売り上げの半数以上であるように、手軽に購入できること、また、現在では6億円BIGマンのコマーシャル、宣伝活動の好評さが要因だと考えるものであります。だれもが身近にスポーツに親しめる環境の整備のため存在するtoto。本市におきまして、これまでtotoを活用した実績はどれぐらいあるのか、また、これからの活用はどのようにお考えなのか、お伺いいたします。

《答弁》

・昨年度策定いたしました実施計画で、平均利用者数と自動車利用率に基づき駐車台数を計算しておりまして、必要な台数を確保しております。また、大きな大会が開催される場合には、仮設の駐車場を設け対応できると考えております。なお、今後、順次施設の整備が進むことによりまして、利用者数が大きく変化するようであれば、検討を加えてまいりたいと考えております。

・スポーツ施設の整備に当たりましては、これまで国庫補助や起債など有利な財源確保に努めてきたところです。今年度、城北市民テニスコート人工芝改修に初めてスポーツ振興くじtotoの助成を活用いたしました。今後ともスポーツ施設整備の財源を確保するため積極的に活用してまいりたいと考えております。

1. 拡張整備計画について

本会議、委員会での主なやりとり（芝生広場）

[平成26年3月定例会（3/13）]

芝生広場の整備内容と
整備スケジュールは
どうなっているのか？

・全面人工芝で、ナイター
設備も備わった多目的な
スポーツ広場として整備
したい

・平成27年秋開催の金沢
マラソンに間に合うよう
整備したい
(応援ステージに活用予定)

※イラストは
イメージです

議会

執行部

本会議会議録より

《質問》

今回の整備エリアではありませんが、すぐ隣には市民サッカー場もあり、一帯はフットボールパークのような様相となっております。そこで、気になるのがサッカー場の隣にある芝生広場の整備内容であります。サッカーを愛する者として、サッカー場のサブグラウンドとしても利用可能な整備を望むところでありますが、どのような整備内容なのか、整備スケジュールもあわせてお伺いをいたします。

《答弁》

サッカー場に隣接している広場でありますので、できれば全面人工芝で、ナイター設備も備わりました多目的なスポーツ広場として整備していきたいというふうに思っています。スケジュールといたしましては、平成27年秋開催の金沢マラソンにおきまして応援ステージとして活用される予定でありますことから、これに間に合いますように、なるべく早く整備を行っていきたいというふうに考えています。

2. 屋内プールについて



2. 屋内プールについて

屋内プールの概要



1. 構造

下部構造: 鉄筋コンクリート造(一部、鉄骨鉄筋コンクリート造)

上部構造: 鉄骨造

2. 規模

延床面積: 約14,100㎡(地下1階 地上3階建)

3. 概要

50mプール(国際公認 水深2.0~0m×10コース、可動床、可動壁)、

飛込プール(国際公認 水深5m)、

25mプール(水深1.1・1.35m 2段式×7コース)、

観客席(2,100席、仮設約400席 増設可)、更衣室など諸室

4. 工期 約26ヶ月

5. 事業費 約74億円

2. 屋内プールについて

本会議、委員会での主なやりとり（整備方針）

[平成24年3月定例会（3/14）]

屋内プールを「飛び込み」と
「水球」の公式競技が
可能なものにできないか？

議会



※イラストは
イメージです

- ・国際公認の屋内50メートルプール及び飛び込みプールの配置を考えている
- ・基本設計の中で水球の公式競技もできるように検討したい

執行部

本会議会議録より

《質問》

飛び込み競技は、本市、石川県ではお家芸とも言われ、数多くのオリンピック選手を輩出してまいりました。また、水球競技についてですが、金沢市立工業高等学校水球部は、毎日、母校の25メートルプールで激しい練習を行い、インターハイで準優勝するなど、その実力は高く評価されています。しかし、公式試合用プールは長さが30メートル、深さが2メートルであり、練習用プールとの違いから、多くの選手が試合終盤にスタミナを消耗し、あと一步で優勝を逃してまいりました。そこで、7点目として、屋内プールの規模を飛び込み用と水球の公式競技可能なものにできないか、市長の御所見をお伺いいたします。

《答弁》

このプールは、公認の屋内50メートルプール及び飛び込みプールの配置を考えておりまして、50メートルプールにおきましては、御提案の水球の公式競技もできますように、基本設計の中で検討をしていきたいと考えています。

2. 屋内プールについて

本会議、委員会での主なやりとり（プールの熱源）

[平成24年6月定例会（6/19）]



本会議会議録より

《質問》

省エネという観点から、初期投資は大きくなりますが、ランニングコストを抑える手法をとられてはどうか。この公園は、以前から飲用以外の水に城北水質管理センターの処理水を使っているとのことですから、そういった意味でも諸条件は十分に整っていると思います。まず、建物の資材などは環境に配慮した資材にする一方、温水プールの熱源にも再生可能エネルギーを導入するというのはどうでしょうか。木質系であれば、カーボンニュートラルの原理が当てはまり、環境対策としても十分なものとなります。先日、岩手県のホットスィムという公共の温水プールを視察してまいりました。この温水プールは、再生可能エネルギーの推進を目的に地熱水利用で始まったものですが、実証調査の結果、2005年に地熱利用を断念し、新たな熱源として木質ボイラーの導入になりました。24時間管理システムで一定の温度を保つことから、もともと温水プールなどに向いており、毎朝搬入する4トントラック2台分のチップを燃焼しても燃焼後の灰が1リットルにも満たないこともエコの観点から評価できる上に、油系燃料にかかる費用を木質燃料に変えたことで、近隣の製材工場に新たに安定した需要が生まれたと評価しているとのことでした。導入時にかかるコストは、重油ボイラーの600万円程度に比べ、チップボイラーだと6,000万円と高額になります。ただ、燃料費が3割削減できると言われており、重油で年間2,000万円かかるならば、差額が600万円となり、9年で初期投資を回収できることとなります。チップボイラー本体の耐用年数が長い上に、重油の価格は不安定で、今後、価格上昇すれば、さらに優位になると考えられます。当初予算の中にも木質バイオマス関連で1,800万円近くの予算が組まれています。この予算を生かすためにも、行政がまず大きな消費をつくり出すということが重要と考えますが、御所見をお伺いいたします。

《答弁》

御指摘がありましたように公園の野球場やサッカー場、芝生広場などの飲用以外の水は、城北水質管理センターの処理水を使っておりますし、今後の整備につきましても、環境負荷の低減、自然との共生、低炭素社会への対応など、十分に環境に配慮した形で進めていきたいというふうに思っています。なお、御提案いただきました屋内プールの件ですけれども、設置に係る費用対効果、省スペース化、安全性、維持管理の課題などにつきまして、基本設計の中で、さまざまな角度から検討をしてまいりたいと考えています。

2. 屋内プールについて

本会議、委員会での主なやりとり（プールの熱源）

[平成26年建設企業常任委員会（6/20）]



委員会記録より

《質問》

先ほども城北市民運動公園のプールの話が出ていたが、温水にするときに重油などで独自に温水をつくるのか、浅野城北水質管理センターから温水を引っ張ってくるのか。

《答弁》

城北市民運動公園のプールの熱源だが、メインは都市ガスで、都市ガスを熱源にして温水をつくって供給する。プールの水温だが、一般使用のときには大体30度弱の温度を保って供用するが、競技時には大会規定である27度から28度ぐらいに合わせることになっている。また、熱源の一部に木質ペレットのボイラーを活用するが、このボイラーは全ての熱源とするには熱量が少ないので、シャワー用の熱源として活用していく計画である。

3. 屋内広場について

1. 整備の目的

金沢は、雨や雪の日が多い気象条件であるため、天候に左右されず、年間を通じて運動に親しむことができる「屋内広場」の整備を計画しました。

また、隣接する屋内プール(建設中)で大規模な競技大会が開催される場合などには、選手控室やウォーミングアップ場として活用することも想定しました。

ー基本的な考え方ー

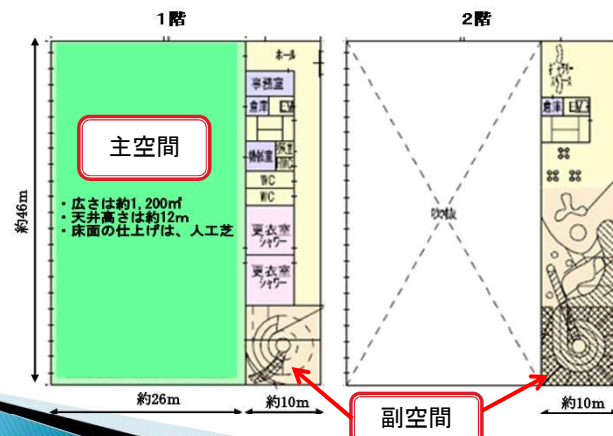
- ①スポーツ施設としての機能を基本とする。
- ②幼児から児童までの運動機能の発達をサポートするアスレチック遊具を設置する。
- ③周辺の芝生広場や屋内プールとの一体利用ができる施設とする。

3. 屋内広場について

2. 施設の規模及び概要

スポーツやレクリエーションができる多目的広場(主空間)と子どもの運動機能の発達をサポートするアスレチック遊具が整備されたスペース(副空間)が、それぞれ独立して配置される施設です。

《施設配置イメージ図》



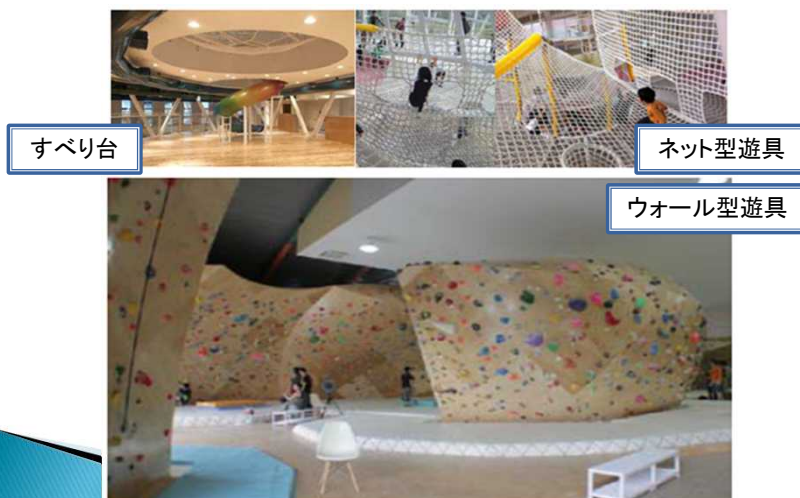
3. 屋内広場について

《多目的広場のイメージ図》



3. 屋内広場について

《副空間に設置予定の遊具のイメージ図》



3. 屋内広場について

本会議、委員会での主なやりとり（屋内遊戯施設）

[平成23年12月定例会（12/14）]

屋内の遊戯施設を充実させることは、子育て支援につながっていくと思うが、どうか？

- ・子どものプレーゾーンの設置も検討している
- ・設置の優先順位も含め、前向きに検討したい

議会

執行部

※イラストはイメージです

本会議会議録より

《質問》

城北市民運動公園は、国道8号沿いに位置し、金沢東インターにも近く、市内外からのアクセスがよい場所に位置しています。今後、スポーツ施設を充実させるとともに、子どもたちが集える施設を充実させることが必要だと思います。例えば兄弟のいる家族連れで公園を訪れた際に、お兄ちゃんやお姉ちゃんがスポーツに励み、その間、幼い子どもは遊戯施設で過ごすなど、家族みんなが城北市民運動公園で一日過ごせるような施設になることは、金沢の魅力アップにもつながります。ことし6月にも質問しましたが、本市は年間降水日数が多い地域なので、その特色を生かし、屋内での遊戯施設も充実させることは、子育て支援にもつながっていくと存じます。今、福島第1原発事故の影響で、多くの子を持つ親が屋外のグラウンドや砂遊び場で遊ばせることにちゅうちょしていると聞きますが、屋内で思い切り遊ぶことのできる施設は、有害な大気汚染を避けるためにも貴重な施設になりますので、改めて御所見をお伺いいたします。

《答弁》

施設は競技スポーツのみならず、生涯スポーツやレクリエーション等、子どもから高齢者までが利用することができる総合的なスポーツ拠点施設として考えておりまして、子どものプレーゾーンの設置も検討しているところであります。御要望のありました屋内の遊戯施設につきましては、限られた運動公園の面積の中で設置の優先順位も含め、前向きに検討をしていきたいというふうに考えています。

3. 屋内広場について

本会議、委員会での主なやりとり（屋内広場の設置）

[平成25年9月定例会（9/18）]



本会議会議録より

《質問》

本市は平成28年度完成予定の城北市民運動公園内にできる市営プールに併設して屋内施設を建設するとしています。概要では、子どもの施設というよりも、各種屋内スポーツのための多目的ホールの意味合いが強いです。私たちは、子どものための屋内施設を期待していました。私たちは、このような市民のニーズとかけ離れている施設を要望してきたのではありません。てくてくの視察で見てきた、子どもが元気に自由に遊べる大きなエア遊具が人気の運動広場、積み木などのみんなで遊べるものや、ちょっと仕切られた絵本コーナーや赤ちゃんコーナーなど、親子連れの利用者でにぎわっている、こんな施設を望んでいます。言うなれば、もっとアイデアを出し、子どもたちをこんな施設で楽しく遊ばせたいと子育て世代が満足いく屋内施設の建設を強く要望し、市長の御所見をお伺いいたします。

《答弁》

城北市民運動公園に隣接する予定の施設のことですけれども、この整備は、御指摘ありましたように屋内広場を予定しているところでありまして、具体的な内容や規模につきましては、今後、学識経験者や子育て関係者、スポーツ関係者等で構成します検討会で議論を進めていくこととしておりまして、当然、今、議員から御指摘、御提案をいただきました点も含めて、その中で検討をしていきたいというふうに考えています。

《質問》

城北市民運動公園の実施計画報告書によれば、屋内広場については年間を通じて多目的にスポーツ利用できるとし、冬期の子どもの遊び場として主にサッカー練習場、フットサル場を整備するとのことでありました。子どもの遊び場としての利用に触れてはいるものの、冬期に期間を限定したものであり、主としてスポーツ利用を前提としたものとなっているものでありますが、議場で市長の前向きな答弁とは裏腹に、非常に限定的な整備方針であり、これでは期待外れの感は否めません。屋内の遊戯施設については、設置の優先順位を含めた検討がなされてきたはずであります。検討の結果、冬期の間だけ間借りをするような形での設置しか考えられないのでしょうか。また、そうであるならば、遊具などについても一定期間に後づけできるようなものしか用意ができません。本市としては、これまでの議会等での多くの議論を踏まえても、屋内遊戯施設の設置の優先度は低く、あくまでスポーツ施設を主とした屋内広場としての整備を推し進める考えなのか、さらに言えば、議会での市長の答弁が施設整備にどのように反映されていると考えているのか、屋内広場の設置方針について

お聞かせいただくとともに、改めて、年間を通した屋内遊戯施設の設置を求めるものであります。

《答弁》

御指摘のように、城北市民運動公園の整備におきまして、屋内広場の設置を予定しているところであります。

具体的な内容や規模につきましては、これから学識経験者を初め、子育て関係者やスポーツ関係者等で構成します検討会で議論を進めていくこととしておりまして、当然、今ほど議員から御提案をいただきました御意見も参考にしながら、その中で検討を進めていきたいというふうに考えています。

《質問》

本市の保育所や幼稚園のバス遠足は、金沢市内の公園では雨天の日程を組めないため、福井のエンゼルランドや富山の太閤山ランドへ出かける日程になるとのことです。本市に住む子どもたちの保育所や幼稚園時代の楽しい遠足の思い出が県外の施設のものばかりになってしまうと考えると、残念でなりません。「交流拠点都市金沢」とするならば、金沢市内の子どもたちはもちろん、隣接する県や市町の子どもたちにも、幼いころに金沢で遊んだ記憶を持ってほしいものであり、交通の便などを踏まえれば、この城北市民運動公園が子どもに特化した施設をつくるにふさわしいと考えますが、もう一度市長の御所見をお伺いします。

《答弁》

屋内広場の具体的な内容や規模につきましては、今後、学識経験者を初めとした子育て関係者、スポーツ関係者等で構成します検討会で議論を進めていきたいというふうに考えています。その際、当然、ここの議場で議論をされた議員の御提案のことも踏まえて、その中で検討していきたいというふうに考えています。

《質問》

雨や雪の多い本市においても、室内で遊べる施設が必要です。市長、城北市民運動公園の屋内広場を、子どもが雨でも楽しく遊べるように進めていただくよう求めますがいかがでしょうか。

《答弁》

屋内広場の活用につきましては、今後、学識経験者や子育て関係者等々で構成します検討会で議論を進めていくこととしておりまして、この議会での議論も含めた中で検討をしていく予定であります。

《質問》

雨の日でも屋内で遊べる施設内容の記載は一切なく、私たちが思っている施設ではないと言わざるを得ません。多目的に利用できる屋内広場ではなく、メインはあくまでも子どもが遊べる多くの遊具が常設され、砂遊びやボール蹴りなどができる施設であると理解していますが、市長がお考えの全天候型の公園や施設とはどのような構想なのかお伺いし、私の質問を終わります。

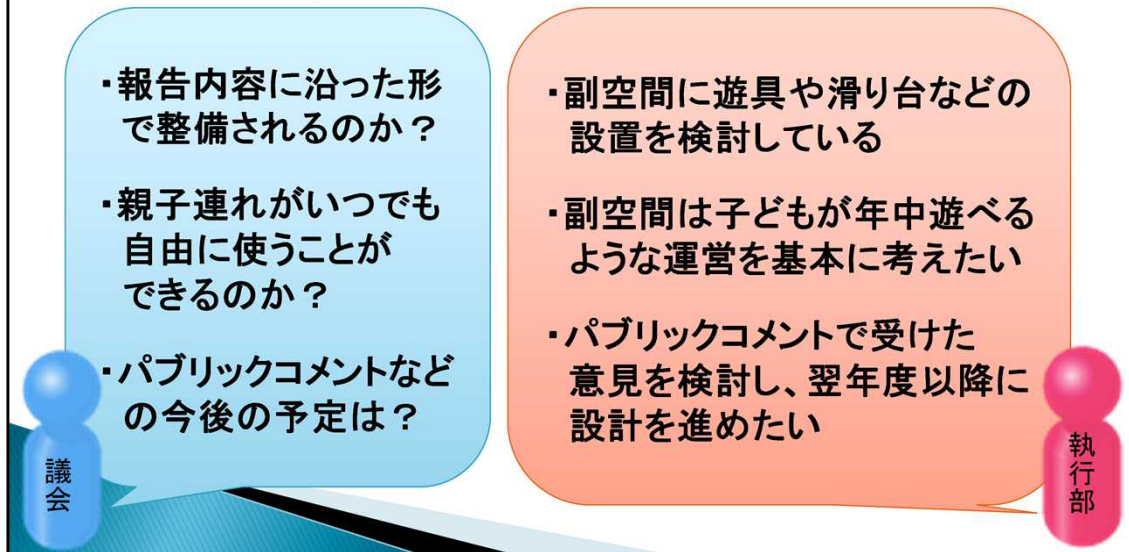
《答弁》

御指摘ありましたように、私のほうから城北市民運動公園の整備の中で、子どもたちが遊べる屋内広場の設置を議会のほうにも申し上げさせていただきました。ただ、具体的な内容や規模につきましては、今後、学識経験者を初め、子育て関係者やスポーツ関係者等で構成する検討会で議論を進めていくこととしておりまして、この議場での議論を含めて、その中で検討をしてまいりたいというふうに考えています。

3. 屋内広場について

本会議、委員会での主なやりとり（整備方針）

[平成26年建設企業常任委員会（5/26）]



委員会記録より

《質問》

今回の報告内容を見ると、子どものための施設が大変少ないと感じる。議員からあれだけ意見があったにもかかわらず、この報告内容に沿った形で整備されることになるのか。

《答弁》

屋内広場は、城北市民運動公園に設置するものなので、まずは運動施設となる。検討会では、運動と子どもの遊びをいかに融合できるかを主眼に検討を重ねてきた。実際に、副空間にはカラフルな遊具や、2階と1階にわたる2階層の滑り台などを検討している。また、親子連れを念頭に置いて、幼稚園・保育園の年少から小学校低学年ぐらいまでの子どもが、雨の日や冬期間にこの施設の中で1日遊べるように整備したいと考えている。

《質問》

屋内広場の利用を希望する親子連れがいつでも自由に使うことはできるのか。スポーツの大会などがあるときに使えなくなるということはないのか。

《答弁》

この施設の運営のあり方は今後考えていくことになるが、現時点では、主空間は大会等の控室になるので、ある程度制限がかかる時期は出てくると思っている。ただ、副空間は子どもが年中遊べるような運営を基本に考えていきたい。

《質問》

パブリックコメントや実施設計などの今後の予定について聞く。

《答弁》

パブリックコメントは早々に対応した。パブリックコメントによる意見を受けて庁内で検討を重ね、翌年度以降に設計を進めていきたい。